
ADJUSTER STEEL
J-3000

紀陽産業株式会社
URL <http://www.kiyoh-ind.co.jp>



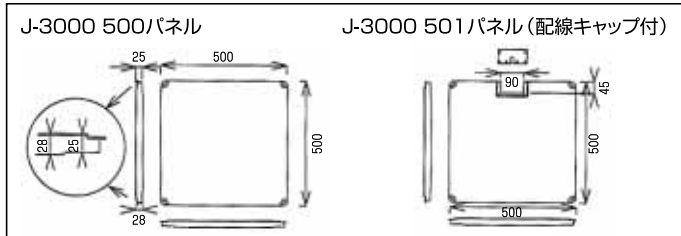
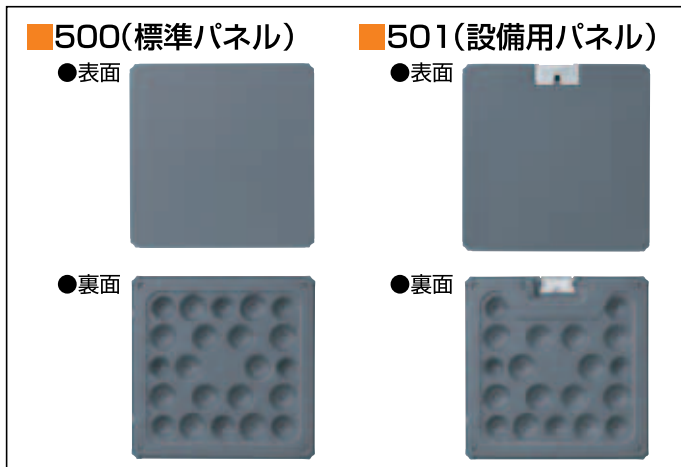
オフィス環境への 新提案。

キヨレックススチールは、多様化するニーズに対応し、優れた歩行感と安心で快適なオフィス空間を提供します。

空間に合わせたレベル調整

- スチールパネルを支える支持脚は、50～160の調整が可能。
- パネル支持脚の一体固定。
- 広い配線空間を実現。

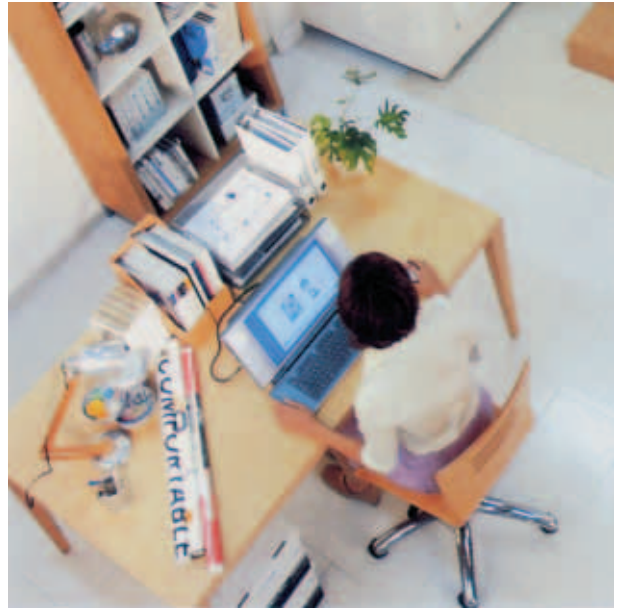
製品形状



●パネル部製品仕様

項目	品名	500(標準パネル)	501(設備用パネル)
配線取出口		無し	1ヶ所
材質		焼付塗装鋼板	
充填材		軽量発泡セメント	
寸法		500×500 t28	
床高		50～160mm ※	
重量		約40kg/m ²	
耐荷重性能	集中荷重	3000N(約300kgf)・変形量4.0mm以下	
	最大荷重	6000N(約600kgf)	
不燃焼性能		燃焼 0	

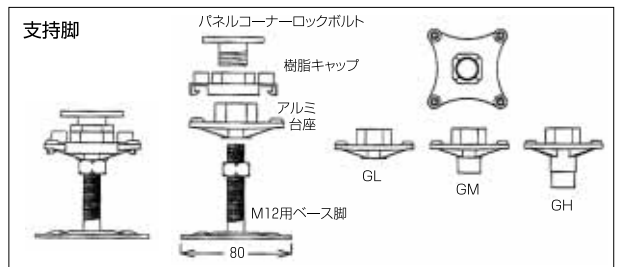
※床高に関して表記外仕様は別途相談ください。



●特長

- 歩行音、歩行感が自然な充填タイプ。
- Jafa(フリーアクセスフロア工業会)規格3000N適合品。
- 焼付塗装採用でパネルの耐食性を強化。
- 支持脚頭部に軽量高精度なアルミダイキャストを採用。パネルコーナーロック機構と合わせ、ガタツキのない安定した二重床を実現。
- 強度対策万全の配線キャップにスチールを採用。

荷重性能は3000Nに適合しています。
(Jafa規格)



支持脚標準タイプ	調整範囲	支持脚ボーダータイプ	調整範囲
GL 12×30	50～59	GCL 12×25	50～55
GL 12×40	55～69	GCL 12×30	55～60
GL 12×50	65～79	GCM12×30	60～70
GM12×50	70～85	GCM12×40	65～80
GM12×65	80～100	GCM12×50	75～90
GH12×65	85～115	GCM12×60	85～100
GH12×80	95～130	GCH 12×60	85～110
GH12×110	125～160	GCH 12×80	105～130
		GCH 12×100	125～150
		GCH 12×110	135～160

※床高、調整範囲はパネルまでの高さで、表面仕上げの厚さは含んでおりません。

※床高H:160以上の場合は別注品対応となります。

※GL/GCL/GCMは板ナット仕様になります。

■荷重試験 (JAF規格)

■パネル集中荷重性能

パネル中央部に加圧子 (φ50mm) を介し加圧してパネルの変位位置と終局荷重を測定。

パネルタイプ		パネル中央		パネル辺中央	
		最大荷重 (N)	たわみ (mm)	最大荷重 (N)	たわみ (mm)
J-3000	標準 (500)	6000以上	4.0以下 (3000N時)	6000以上	4.0以下 (3000N時)

■衝撃荷重試験 (JAF規格)

衝撃 (砂袋) 負荷後の荷重試験

パネル中央部に30kgの砂袋を50cmの高さから落下させた後、パネル中央位置での荷重試験を行い最大荷重値を測定。

■衝撃試験性能

パネル種類	落下高さ (cm)	最大荷重 (N)
J-3000	50	6000以上

衝撃 (なす形おもり) 負荷後の荷重試験

パネルの中央部に0.5kgのなす形おもりを100cmの高さから落下させた後、パネル中央位置での荷重試験を行い最大荷重値を測定。

■衝撃試験性能

パネル種類	落下高さ (cm)	最大荷重 (N)
J-3000	100	6000以上

■燃焼試験 (JAF規格)

エタノール0.5cm³を入れた燃料容器をパネル中央部の下に設置し点火し、燃料が燃え尽きた後の残炎時間、残じん時間を測定。

残炎時間	0 [sec]
残じん時間	0 [sec]
判定結果	燃焼0

■ローリングロード試験 (JAF規格)

パネル中央部をウレタン被覆キャストに1,000Nをかけ、1万回走行させて、走行荷重値を測定。

■ローリングロード試験結果

パネル種類	荷重 (N)	走行回数 (回)	損傷
J-3000	1,000	10,000	無し

■水平振動台を用いた振動試験 (財) 建材試験センター 受付第07A1547号

床高150mm (表面仕上げ材を除く)

試験方法	目標入力加速度 (GAI)	振動数範囲 (Hz)	加振時間 (SEC)
正弦波	1,000 (1.0G)	6.0~2.6	60
試験結果	入力加速度 (振動の平均値)	目視観察結果による試験体の状況	
J-3000	1,000 (1.0G)	ワークデスクの移動の他異常なし	

■J-3000の施工手順

独自の連結方法で、簡単にスピーディーに施工完了。

1 下地の処理および清掃

モルタル層など突起物を取り除き、掃除機で砂やホコリも取り除きます。

2 割付・墨出し

建築基準墨および施工図にもとづいて、床面に割付墨を打ちます。

3 搬入・仮置・取付

材料搬入・仮置/取付
枠・スロープの取付

規格・数量・品質 (外観) 確認後、施工面積に応じて、フロアパネル・支持脚及び副資材を分散して仮置します。打合せ図面にもとづき、枠やスロープを取り付けます。枠のスラブ取付金具は、支持脚の設置位置に来ないよう取付けてください。

4 レベル調整

基準レベルを確認し台座を回しながらレベル調整をする。その後レベルが変わらないよう支持脚の向き等注意しながらM12用ナット、又はM16用ナットを締め付ける。この時台座にガタつきが無い様しっかり締め付ける。

5 支持脚のレベル出し

レベル設定脚を基準に、支持脚全てをレベル調整する。角パイプ又は、水糸等を定規としてh寸法に合わせる。レベル調整後速やかにナットを締め付ける。

6 支持脚の接着

接着剤を支持脚ベース裏に塗布する。

7 支持脚の設置

接着剤を付けた支持脚を墨出しの交点にベースプレートを押し入れ付けて接着する。

8 パネルの敷設

施工図で確認の上所定の向きに割付基準となる位置からパネルを敷設する。10枚程度敷設したらパネル端部と床面の墨が合っているか、パネル間の隙間が均等か確認。不備な場合は修正する。

9 ロック剤の使用

必ずボルトロック剤 (別売り) をパネルコーナーロックボルトの締付け前にベース線 (M12/16) と台座の嵌合部に注入。

パネルは、目地調整が必要となるので、支持脚の接着剤が固まらないうちにパネルを設置。

10 パネルのロック

4枚のパネルコーナーが正確に揃った状態で、パネルコーナーロックボルトを六角レンチ (M10) で締め付ける。

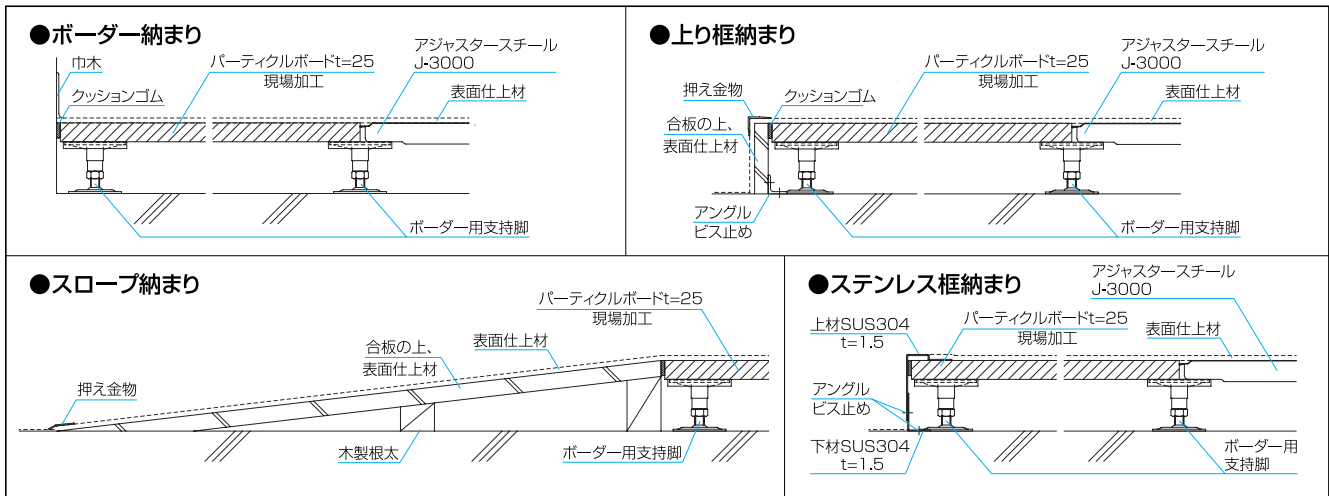
11 仕上材の敷込み

フロアパネルの目地をまたがす様に仕上材の基準墨を打ち、施工範囲確認後、「ピールアップボンド」をローラー刷毛で塗布。オープンタイムを充分取り、仕上材を敷込む。

■ポーター部

ポーターパネル (木製パネル) t25をカットして、ポーター用支持脚でパネルを受ける。

ポーターパネルは、必ずビス留めをすること。



▲ アジャスタースチール取り扱い上の注意事項

- パネル、支持脚の改造はしないでください。強度の低下、床のガタツキなど事故の原因となりますので、改造部分には補強が必要になります。(改造をされる際には必ず弊社までご相談ください。)
- 重い物を落としたり、踏み台などから飛び降りたりするとパネルや支持脚に変形や破損が発生することがありますのでご注意ください。
- 重量物の移動や台車での移動は、パネルを痛めたり仕上げ材(タイルカーペット他)がずれる場合がありますのでご注意ください。(移動には、9mm厚以上のベニヤ板などを敷いてください。)
- 重量物を設置するときは、キャスターなど設置面積が小さいとパネルに偏った荷重がかかり変形や破損が発生することがありますので、設置面には補強が必要になります。(設置時には衝撃を与えないようにそっと設置してください。)
- パネルは必要とき以外は取り外さないでください。やむを得ず取り外す場合はつまづきや落下事故などに注意してください。
- 湿度の高い部屋や長時間使用されない部屋は、清掃を定期的に行い、室内の換気に充分ご注意ください。換気のない場合はフィルター現象を起こし、タイルカーペットの目地が黒ずみ汚れる恐れがあります。(パネルが結露し錆びや漏電等の原因になります。)
- 清掃時には、配線機器等に水が掛からないようにしてください。
- アルミ框、アルミスロープを取り付けた際には段差に足をひっかけたりして、けがをすることがありますのでご注意ください。
- スチールグレーチングを取り付けた際は絶対に上に乗らないで下さい。破損等により、けがをすることがありますのでご注意ください。



KIYOREX
キヨレックス®

紀陽産業株式会社

- 東日本営業部
〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目6番3号 昭栄ビル
TEL.03-5425-6380 FAX.03-5425-6335
- 西日本営業部
〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目12番21号
TEL.06-6538-0686 FAX.06-6538-0685
- 本 社
〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目12番21号
TEL.06-6531-3522 FAX.06-6538-0678

URL <http://www.kiyoh-ind.co.jp>

■ お問い合わせは下記へ

商品改良の為、仕様及び外観は予告無しに変更する事がございますのであらかじめご了承下さい。
現品とカタログの商品の色は、印刷の為多少の相違がありますのであらかじめご了承下さい。